

山下江法律事務所
(広島県広島市／法律事務所)

もっとも大切なものは何か。 その答えはやはり“人間”だと思う

ミニレポート 理由

交通事故、離婚、相続、借金整理などの個人案件や企業法務など、さまざまな相談に対応する広島県広島市の「山下江法律事務所」。20人の弁護士と30人のスタッフを擁する法律事務所は、中四国地方では最大規模です。各弁護士が担当分野を広く深く理解し、付加価値の高い法的サービスを行っています。社会正義に基づくマーケティングで攻めの経営を行い、積極果敢な人助けと着実な業績アップを実現しています。(推薦者：船井総合研究所 出口恭平)

「山下江法律事務所」の根底にあるものは「困っている人を助けること」です。弁護士は法律のプロとして、秘書はその補助者として、親切的な相談と適切な解決を心掛けています。そのために私たちは積極的に市民の中へ入っていき、身近な存在になりたいと思います。そして依頼を受けたら全力投球で取り組む。もし敗れても、「この弁護士に頼んでよかった」と思ってもらえるように最善を尽くします。

市民にとけ込むには広報活動も必要です。しかし、従来の弁護士や法律事務所は依頼が来るのを待つばかりで、自分からは動きません。そればかりか、弁護士が積極的に経営を語ったり広報活動をするに嫌悪感を抱くような風潮さえありました。そのような状況の中で、私たちはあえて従来の殻を破り「攻め」の経営をしていこうと考えました。

その一環として行っているのが、企業法務向けのニュースレターや交通事故解決について分かりやすく解説した小冊子などの制作・発行です。これには、万が一事故や事件に巻き込ま



山下江法律事務所
所長 山下江氏



左上／事務所のロゴマーク。“山”の字をモチーフに「笑顔」を、燃える赤で「闘志」を、そして人と人が繋がっているように見える図柄で「信頼」を表している。左下／女性の弁護士や管理職が多いほか、パートタイマーに子育て中の女性を積極的に採用していること等が認められ、2012年「広島市男女共同参画推進事業所」として表彰された。写真中央は広島市の市長 松井氏。右／弁護士の出勤時間や事務員の服装は自由。一人ひとりが存分に能力を発揮し、仕事に従事できるよう自主性を尊重している。

れた際、裁判で不利になることを未然に防いでもらう目的もあります。実際、交通事故に遭ってしまったときなどは、弁護士に相談すれば賠償金が多くなる場合がほとんどなのです。しかしそれを知らないばかりに損をしている人がとても多い。そのような状況を解消しようと思ったのが媒体制作のきっかけです。弁護士に相談することのメリットをたくさんの人に知っていただき、もしもの時には気軽に相談していただきたいのです。

当事務所は20人の弁護士を擁しており、各弁護士がそれぞれの担当分野の専門知識を広く深く学んでいます。そのため他の弁護士が行っていないような付加価値の高い法的サービスを提供することができます。また弁護士はチーム

制になっていますので、定型的な案件は単独で動き、複雑なものはチームで、あるいは全体で取り組むなど、総合力を発揮します。

いま日本には約1万3千の法律事務所がありますが、そのうち62%の事務所は弁護士が1人しかいません。2人いる事務所は全体の18%。当事務所のように20人規模の事務所はほとんどが都心で、地方でこれだけの弁護士を擁しているのはかなり稀です。私たちはこの強みを生かして、社会貢献につなげたいと考えています。

もっとも大切なものとは何か。その答えはやはり“人間”だと思うのです。私たちは常に“人としての在り方”を自らに問いながら、人助けをしていきたいと思っています。

山下江法律事務所

創業：1995年 代表者：山下江 従業員数：50名

本社所在地：広島県広島市中区上八丁堀 4-27 上八丁堀ビル 703 電話：082-223-0695

URL：http://www.law-yamashita.com

業務内容：法律事務所